

日々の田高（おもしろ文房具開発プロジェクト）

本校では、理数研究校の取組みとして、「おもしろ文房具開発プロジェクト」を行っています。

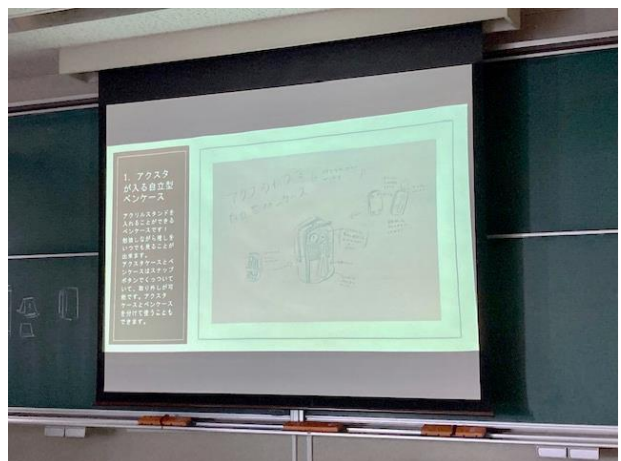
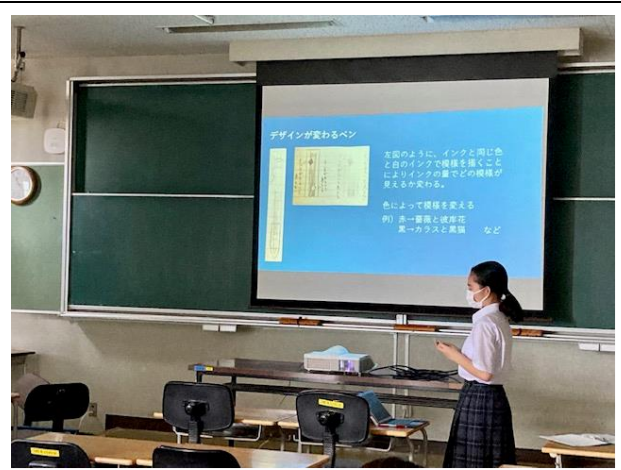
理数分野とつながる STEAM 教育として、私たちの生活に身近な文房具に焦点を合わせて、使用者として、高校生の視点からみた文房具のアイデアを出していきます。

6月から、デザインオフィス MONT の本木礼夫さんを講師としてお迎えし、商品開発をするための考え方などのお話を伺っています。現在、このプロジェクトに参加しているのは、2年生1名と1年生3名です。

生徒たちは、身近な文房具を使う中で、「こうならもっといいのにな」という課題を出します。その後、解決に向かう仮説を立てます。既にそのような製品があるかリサーチして、自分のアイデアが製品として実現可能か探り、周囲の人にアンケートをとり、商品としてのアイデアに、まとめていきます。

8月下旬には、講師の先生が以前所属していた、プラス株式会社を訪問し、一人ひとりのアイデアについてプレゼンテーション（中間発表）します。

そのため、どうすれば自分の視点や思い、そして客観的な根拠を伝えられるか、プレゼンテーションの完成度を上げるようにしています。私が見させてもらった時は、講師の先生と一緒にプロジェクトに取り組む仲間の意見を聞いて、うんうんと頷いたり、「なるほどー。」という声思わず漏れるくらい、自分のアイデアを大切に育てようとしている姿勢が良かったです。このような取り組みから、生徒のアントレプレナーシップも育んでいきます。



中間発表にむけてのプレゼンテーションの様子です。

ちなみに、生徒の考えているアイデアは、本人たちが大切にしていますので、内緒です。ごめんなさい。